

七小校長室便り

開校50周年

国立市立国立第七小学校

校長室便り No.2 令和4年(2022年)7月7日

一学期を振り返りながら

6月の後半から、猛暑日が続き、梅雨の季節が短期間で終わってしまいました。暑さが続けば、水不足等これからの季節では気になるところです。健康管理も難しい時期でもあり、また、コロナ禍の状況も落ち着いてきたかと思うと、また、増加傾向に転じているなど、様々に発信されている情報を精査しながら、熱中症に警戒しつつ、学校の教育活動を進めているところです。

【熱中症対策としての取組】

現在の熱中症対策としては、登下校時や体育時のマスクの適正な着脱をはじめ、中休みや昼休み時には、暑さ指数であるWGBTを測る機器を使いながら、外遊び等での注意点や短時間での遊び、外遊びをしないで教室で過ごすこと等、状況に応じた放送を入れて、子供たちに指示をしています。また、水泳指導においては、WGBTの計測機器の活用と共に、水温と気温を図り、水泳中の熱中症を警戒しています。



国立市では、暑さ指数が31以上の場合は、水泳指導は中止です。また、屋外での活動も中止となります。更には、熱中症警戒アラートが発表されている場合でも、暑さ指数が31を下回っていれば、実施可能となっています。ただし、暑さ指数が31を超えていく可能性があるため、状況に応じて、水泳指導の中止を判断します。基準を超えた場合は、水泳指導の中止や指導の途中であってもプールから上がる等の対応をしています。

また、保護者の皆様には、プールカードへの押印等をお願いしていますが、その日の体調管理において子供たちが元気な状況であることも水泳指導を実施する上で大切な指標ともなっています。水泳指導実施日においては、提出忘れにお気を付けいただき、子供たちが安全と安心の上で活動できるように、保護者の皆様との連携の1つとしてまいりたいと思います。

【学校評議員会】

令和4年度の学校評議員会を5月28日(土)の土曜授業参観の日に実施をし、今年度の学校経営や様々な取組等について、お伝えさせていただきました。特に今年度は、学校教育目標の重点である「やさしく」への変更について、開校50周年記念関連行事等を中心にお話をさせていただきました。



本校の学校評議員の皆様は、全員で7名の方をお願いしておりますが、それぞれの皆様が地域においてご活躍をされている方ばかりです。本来であれば、お名前等をご紹介したいところではありますが、個人情報でもありますので、控えさせていただきます。

学校評議員の皆様、今年度の教育活動へのご理解、何卒、よろしくお願いいたします。

さて、この学校評議員会は、今年度の本校の教育活動について、ご意見やご質問をいただいたり、いただいたご質問にお答えしたりする場であり、地域の皆様の代表の方々に、学校のことを深くご理解いただく場となっています。

年度末においては、学校経営や運営についての学校に対する評価をしていただく皆様でもあり、この校長室便りや学校便り、学校要覧等の文書をはじめ、授業参観、学校行儀へのご来校、日々の児童の見守り等、学校状況をよくお知りいただき、評価していただいております。

また、学期に1回程度開催している評議員会の内容については、教育委員会にも情報を報告すると共に連携しながら、よりよい学校運営になるよう努めています。

学校評議員の皆様には、今年度の学校運営に対して、温かくも期待を込めた励ましの言葉をいただいております。教職員一同、有り難く受け止め、日々の教育活動に励んでいるところです。

【健全育成会議】

本校では、や民生児童委員、主任児童委員の方、本校担当のスクールソーシャルワーカー、社会福祉協議会の方等で健全育成会議を年2回程度、行っています。昨年度より、定期的に行っており、地域における本校の児童の様子や状況を確認しています。



子供たちは、各ご家庭で過ごしている時、友達と一緒に過ごしている時、地域で遊んでいる時、

学校で過ごしている時等、それぞれに違う様子や行動をしていることがあります。子供たちにとっては、それぞれの場所や空間によって、それぞれに応じた行動や対応をしていくことにより、社会性を高めていく場となっています。言い方を変えると、学校で見ている子供たちの姿とは違う姿が、様々な場所には、あるのかもしれませんが。

学校にとって、子供たちの家庭での姿や地域での活動や行動、友達との関わりの様子等、とても貴重な教育的情報となります。子供たちの健全な育成を図るためにも、健全育成会議において、様々な情報交換をして、共通の視点や理解を図ることは、本当に貴重な場でもあります。

学校は、様々な教育的関係機関と連携を図りながら、健全育成のための取組を日々、模索しつつ展開しています。

【幼・保・小連携】

今年度、各小学校では、幼稚園や保育園との連携を高める取組として、各小学校と連携する幼稚園や保育園を設定し、教職員間交流を進めているところです。

本校に入学する1年生は、様々な幼稚園や保育園から入学してきています。入学する前までに身に付けた力を活かしながら、小学校生活に慣れ、小学生としての成長を図っていきます。学校では、1年生の入学後に、小学校に早く慣れて、安心した学校生活を送れるように、1年生の入門の学習として「スタートカリキュラム」という学びを設定しています。小学校生活をスムーズに行うための時間として、学校のきまりのこと、登校した時のランドセルの片付け方、トイレの使い方等々、入学前とは違う様々な学校生活を学べるようにしています。

今年度は、このスタートカリキュラムについて、幼稚園や保育園の先生方と小学校先生方が、お互いに訪問して交流し合い、よりよいシステム作りに向けて学びを高めることになりました。

この4月には、幼稚園や保育園の先生に来ていただき、第1回目を行いました。次は、本校の先生が幼稚園や保育園にお伺いをする番となります。本校に入学をする子供たちが、安心をして、安全に学校生活を送るために、お互いに学び合いたいと思います。

【校長・PTA会長等連絡会】

各校のPTA会長をはじめとする保護者の代表の方と、国立市内各小中学校の校長が一堂に会して、連絡会を開催しています。国立市は、小学校8校、中学校3校、計11校のコンパクトな市の利点を活かして、各小中学校が情報共有や情報発信していくことで、それぞれの良さを知り、活かした教育活動になるように、連携を図っています。

会では、立川警察の方に来ていただいて、国立市の子供に関わる情報について講演いただいたり、教育委員会からは、国立市の教育についての詳細をお話いただいたり、PTAと学校が密に連携して、よりよい教育活動とすることができるようにPTA会長の皆さんと一緒に学ぶ機会となっています。コロナ禍で分断されがちな社会性や協働的な連携を改めて見つめながら、保護者の皆様とよりよい関係をつくり、子供たちが楽しく、元気に通える学校であり続けたいと思います。

【校長のつぶやき】

今年度、私は、教員として31年目を迎えました。

校長職としては、5年目です。副校長としては6年従事いたしました。

主幹教諭時代はもっと長く8年間で、生活指導主任や教務主任の仕事に取り組んできました。

最近の教員の世間的に広まっている状況としては、「ブラック」という認識が多いと思います。とても残念でありませんが、確かに改善が必要なところもあると考えます。

私の弟の子供である甥も教員を目指して頑張っていると聞いていますが、「教員は、いろいろと大変でブラックだからな。」と弟に言われたことがあります。様々な意見を戦わせましたが、世間の現実的な認識は、弟の言葉に集約されているのだなと思わざるを得ませんでした。

しかし、だからといって、教員という仕事をひとくくりでブラックと言われることには、あまり納得がいきません。これまでの教員人生の中で、多くの子供たちや保護者の皆さん、地域の皆さん、そして、先生方と関わってきた中で、とても充実感や達成感を感じることが多くありました。今も私との関わりを大切に、頑張ってくれている教え子たちもいます。

人の人生に大きくかわり、影響力のある立場だからこそ、精進することは教員を続ける限り、必要なことだと思っています。「生涯、青春」の気概で学び続けることこそ、人としての、教員としての成長に繋がり、そして、それは、目の前にいる子供たちにしっかりと伝わっていくと確信しています。本校の先生方も、とてもよく頑張っている先生方がだと思っています。

これからも応援をお願いいたします。

